

なぜCBMを推進するのか

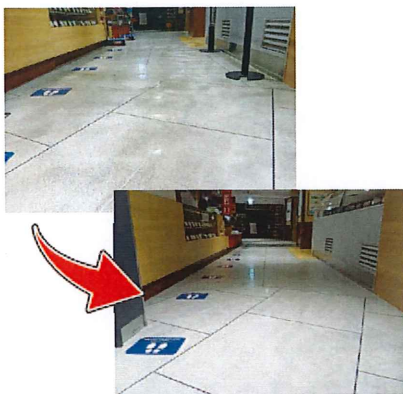
2025年現在、日本の人口は約1億2000万人ですが、2050年には約1億人まで減少すると予測されています（厚生労働省：我が国の生産年齢人口の推移と将来推計〔令和4年〕より）。これは約17%の人口減少にあたり、就労者数の減少も避けられない状況です。この影響は、当社の清掃業務を支える人材確保にも及ぶことが想定されます。

こうした将来の人口減少による人手不足に備え、アクセスではCBM（Condition Based Maintenance）の推進に取り組んでいます。現場の状態を的確に把握し、効率的かつ持続可能な業務運営を実現することで、限られた人員でも品質を維持することをめざしています。

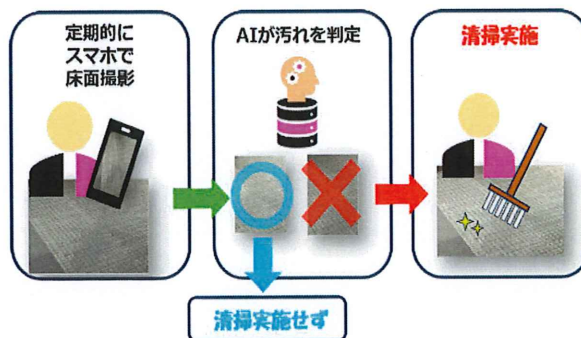
以下に現在の取り組みの一部を紹介します。ぜひご覧ください。



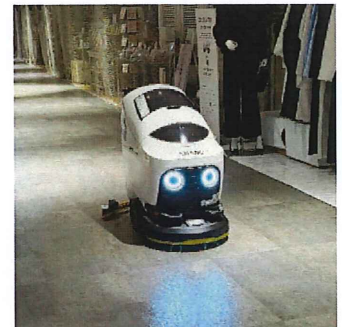
業務推進課
金井課員



高耐久のコーティングを床面に施し、
日常清掃の負担軽減・定期清掃の頻度削減

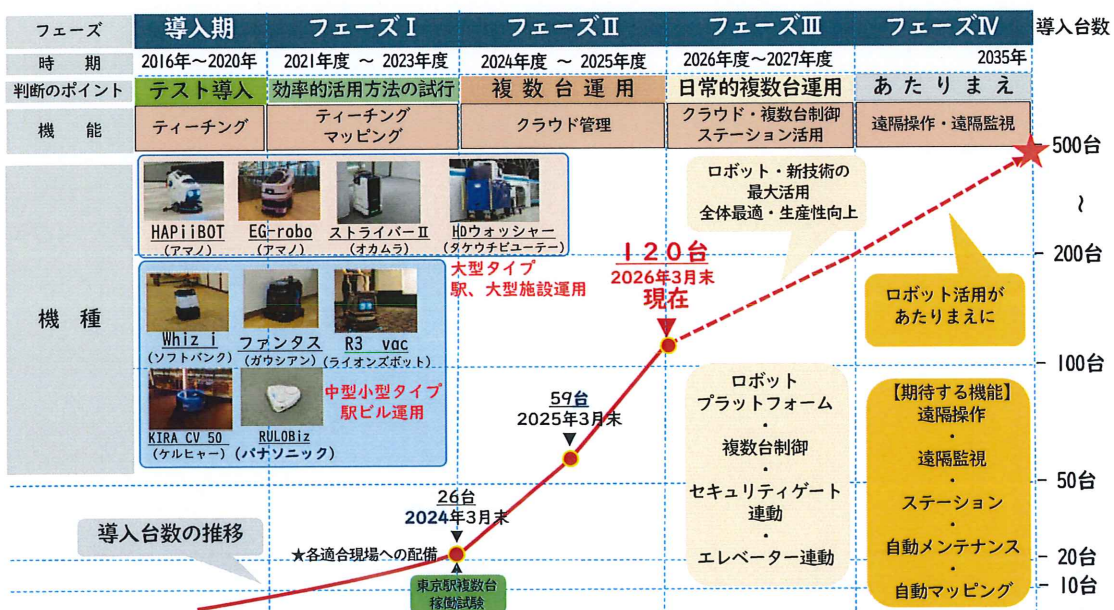


床面の汚れ具合を客観的に評価して、
適正なタイミングで作業を実施



清掃ロボットを活用することで、人
材確保が難しい状況でも業務負担の
軽減が期待できます。（詳細は下記
記事をご覧ください！）

清掃ロボットの導入台数が120台に到達！



技術開発課
折井課員

アクセスでは業務効率化を目的にロボット導入を段階的に進めてきました。2024年4月の時点では26台でしたが、導入を重ね、2026年4月には120台に到達しました。各事業所で活躍しており、今後もさらなる導入、および稼働時間の拡大を進めます。清掃ロボットについて、新規導入または導入拡大をご検討の際は、CBM推進本部 技術開発課までお問い合わせください。